

マテリアリティの中計2026 実績と振り返り

マテリアリティ		KPI		FY25目標	FY25実績	達成状況	説明
事業を通じた社会課題の解決	①はたらく機会の創出	より良い“はたらく機会”を創出（提供・支援）する人数		50万人	46.5万人	未達	市場環境の変化や戦略方針の影響により当初想定した水準には至らなかったものの、前年から着実に拡大しています。
	②多様なはたらき方の提供	多様なはたらき方が可能になった人の数		5万人	4.9万人	未達	想定していた成長スピードには及ばなかったものの、前年からの拡大により着実な進展が見られました。
	③学びの機会の提供	各教育サービスの受講者数	①派遣社員向け学びの機会の提供	16万人	21.0万人	達成	法人需要の変化やサービス転換の影響を受けたものの、3年間を通じて目標を達成し、目標を上回る成果となりました。
			②アップスキリングやキャリア自律を目的とした企業研修 アップスキリング後の人材紹介サービスの提供	12万人	12.1万人		
			③学生・社会人向けの学びの機会の提供	－	7.8万人		
④企業の生産性の向上	「企業の生産性向上」に関わるサービスの売上高		3,000億円	3,845億円	達成	事業ごとの成長にばらつきは見られたものの、全体としては計画を達成し、売上はFY2022比で増加するなど着実な成長を継続しています。	
持続的成長を実現するための基盤	⑤多様な人材の活躍	エンゲージメントスコア		75.0%	72.3%	未達	女性管理職比率や男性育休取得率は目標未達となったものの、いずれも改善傾向にあり、着実な進展が見られています。
		女性管理職比率		30.8%	29.4%		
		障害者雇用数		4,000人	3,827人		
		男性育休取得率（1日以上取得）		100%	93.6%		
	⑥データガバナンスの強化	全従業員に占める研修を受けた人の割合		100%	99.3%	未達	研修受講率は3年間を通じて高水準を維持しており、データガバナンス強化に向けた基盤整備を継続しています。
	⑦人権の尊重	全従業員に占める研修を受けた人の割合		100%	99.3%	未達	研修受講率は高水準で推移しており、人権尊重に関する理解の浸透と体制整備が進んでいます。
	⑧気候変動への対応	Scope 1+Scope 2の排出量削減率（21年度比）		17.3%削減	算定中	未達	排出量算定体制の整備およびデータ精緻化を進めており、開示の高度化に向けた取り組みを推進しています。
		Scope 3の排出量削減率		設定中	設定中	未達	